

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年1月29日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1270100702		
法人名	有限会社 山葉福祉		
事業所名	グループホームさくら		
所在地	千葉市中央区南町2丁目11番5号 (電話) 043-268-2227		
評価機関名	NPO法人 ヒューマン・ネットワーク		
所在地	千葉県船橋市丸山2丁目10番15号		
訪問調査日	平成20年1月24日	評価確定日	平成20年2月5日

【情報提供票より】(平成19年12月1日 記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成13年7月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	17 人
職員数	18 人	常勤12人, 非常勤6人, 常勤換算11.5人	

## (2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨 造り		
	3階建ての	1、2	階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	90,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(1,000,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,500 円		

## (4) 利用者の概要(12月1日現在)

利用者人数	17名	男性 2名	女性 15名
要介護1	3	要介護2	4
要介護3	6	要介護4	2
要介護5	2	要支援2	0
年齢	平均 86歳	最低 78歳	最高 95歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	三愛記念そが病院 学園前歯科クリニック
---------	---------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「グループホームさくら」はJR蘇我駅から北側へ徒歩3～4分の所に位置しており、建物は以前ビジネスホテルであったものを改築した3階建てのしっかりした構造となっている。管理者及び職員は、利用者の肉体的、精神的レベルにあわせて、ホームを終の住みかとしてその人らしく最後まで暮らしていけるよう支援している。共に家族のように生活しており、ご家族からの信頼も厚い。毎月「さくら便り」を発行し、誕生会、日帰り小旅行等での利用者の近況を家族に伝えている。ホーム開設後6年半経過しており、利用者の年齢がすすみ、事業所として「看取りケア」を始めたところである。また地域住民の緊急時の高齢者宿泊ケアを随時受け入れている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回「市町村との連携、地域住民との積極的なかわわりを期待する」と指摘された。運営推進会議を開き市町村との連携、地域との交流をはかった。介護相談員には定期的にホームに来ていただき市との連携をはかり、また地域住民の緊急時のケアを随時受け入れる体制を構築した。今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	管理者、職員全員で話し合い、今年度取り組んで行く項目を「自己評価4項目」「外部評価4項目」取り上げた。全体会議を通して改善状況をみながら一つずつ具体策を考え進む方向である。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	「運営推進会議設定運営要綱」を作成しており、3ヶ月に1回定期的に運営推進会議を開催している。利用者やホームでの生活状況を知ってもらい、また外部評価の改善課題についての報告等をしている。管理者は、内部による視点に加えて、外部からの視点を大切に考えており、地域、市町村にたいして事業所理解を深めるための会議として位置付けして開催している。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	年2回定期的に開催される家族会の折、個々の家族の方と担当職員とがマンツーマンで話し合い、意見苦情を確認し、管理者と協力して対応している。また利用者アンケートの「事業所の改善して欲しい点」での意見を大切にして、運営に反映させている。その他、面会に来られたおあり、ご家族の相談に積極的に対応している。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	町会、自治会に加入している。地域で催される盆踊り、敬老会に参加している。また月1回の事業所で開催される誕生会には、地域敬老会の人たちも参加して、余興等して下さり、相互の交流がはかられている。地域の保育園児、小学生もときどき事業所に来て交流を図っている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	認知症のお年寄り個々の希望・性格に対応した介護をしようということを中心に据えている。「ゆったり、楽しく、いっしょに」を合言葉にして、地域と密着したサービスを提供している。		現在ホームページの改定に取り掛かり始めた所である。地域住民との交流に関する情報提供、そして年間行事を載せ、利用を考えている人たちにより理解していただけるよう努力されることを期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月1回管理者、職員全員参加の会議を実施して、理念の共有をはかっている。また入居者ADL一覧表を作成して利用者個々の状況を職員が共有する体制が整えられている。新採用者も利用者個々の性格を理解しやすい。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町会、自治会に加入しており、地域の盆踊り、敬老会に参加している。ホームでの誕生会には敬老会も参加して余興等してくれることもあり、相互の交流がはかられている。また保育園児、小学生もときどきホームに来て交流をはかっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員で全員で話し合い、自己評価をし、外部評価の意義を共有している。前回指摘された点については、全員会議でとりあげ改善してきている。外部評価は玄関左手の低い棚の上におき閲覧できるように保管されている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	「運営推進会議設置運営要綱」を作成して、3ヶ月に1回会議を開催している。民生委員、介護相談員、家族会代表、町会代表等が参加している。利用者やホームでの生活状況を知ってもらい、また外部評価の改善課題についての報告等をしている。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	千葉県グループホーム連絡会に出席して、市町村とサービスの質の向上に取り組んでいる。また介護相談員に入ってもらい、市との交流をすすめている。		自己評価項目3で、より地域の人に理解してもらえよう努力する、とある。町会の回覧板あるいは町会誌にホームの紹介、行事など掲載していただき、地域の人が今以上にホームに来て理解していただけるよう努力を期待したい。
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月「さくら便り」を発行して、利用者の暮らしぶりを個々の家族に伝えている。誕生会等の行事、また日帰り小旅行での写真も多く掲載されており、ご家族に伝えやすく工夫されている。金銭管理もきちんと家族に報告されている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年2回の家族会の折、家族と担当職員とマンツーマンで個別に相談する仕組みがある。家族会は参加しやすいよう、バーベキュー大会、老人会のバリダンスなどの催しを実施して本音を言える雰囲気をつくっている。また面会時にも積極的に相談にのっている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動は、結婚、夫の転勤等、退職時に発生します。職員の交代時には、新旧二人、ダブルで介護をしている。1ヶ月にわたる引継ぎも多く、その結果スムーズにきちんと引継ぎされている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ベテラン職員が新職員とマンツーマンで実地教育して育成して行く体制ができている。外部研修は、その都度連絡されてくるため予定が立てづらい面もあるが、できるだけ参加できるように努力している。パート職員は同じ仕事の同僚なので研修、会議参加している。研修結果は会議で共有をはかっている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は千葉市グループホーム連絡会に出席して、地域の同業者との交流をはかっている。それにより他グループホームの見学をしたり、また他からの見学もある。		相互の交流はあるものの頻度としては少ないようである。日常の忙しさは理解できるがサービス向上のため今後の取組みに期待したい。
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	新規の利用者はまず体験入居をする。人によって1週間から1ヶ月、なじみ期間を設定している。新利用者の癖、特徴を確認して、職員と納得できる関係をつくり、安心して生活していただけるよう努力している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は私服を着用し、お茶、食事を利用者と一緒にして、共に暮らす仲間として共感している。裁縫が得意な利用者が職員の名札を胸に縫い付けたり、職員の手が荒れているとハンドクリームを利用者が塗ってくれたり、支えあう関係が築かれている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居前に本人、家族から十分に話を聞き、心身の状況、生活歴等あらゆる角度から個々の把握に努め、希望、意向を汲み取るようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者の思いや意向を聞き取り、家族の来訪時は必ず声をかけ意見を聞き、介護計画に反映させるよう、職員全員で意見交換やカンファレンスを行っている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的なアセスメントの見直しは利用者の生活課題のあるなしに関わらず家族や本人の意見を取り入れながらおこない、状態が変化した場合はその都度見直しを行う。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者や家族の希望に応じ、通院、外泊、美容院等柔軟に対応している。緊急の場合は即日のショート、1日のみのショートにも対応している。介護教室も希望があればいつでも受け入れる体制が出来ているが参加者は少ない。今後は町内会、民生委員等を通じて呼びかけ定期的に行う予定である。</p>		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>事業所の協力医のほか、利用者、家族の希望するかかりつけ医や、医療機関で治療が受けられる様に通院介助している。利用者が短期入院した場合、毎日職員が病院に行き利用者の状況確認をし、同時に洗濯物の交換等も行っている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>原則としてターミナルケアを行う方針であり、現在1名訪問診療、訪問看護を依頼して24時間医療体制で対応している。又、全職員がケアの質の差がないよう医師、看護師の助言を得て介護している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の自己決定を最優先しており、拒否された場合は決して無理強いせず、尊厳を傷つけないよう声がけや対応に注意を払っている。写真の掲載、掲示については本人、家族の了解を事前に取り等プライバシーに配慮している。又、記録などの取り扱いも外部漏洩がないよう管理されている。</p>		<p>パンフレットに「痴呆」の記載があり、利用者の尊厳に係わることなので、対応が必要と思われる。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>午前中は居室の整理、体操、午後は散歩、買い物、入浴と基本的な1日の流れはあるが、入居者の希望・意向、体調等を考慮して出来るだけ個別性のある支援を行っている。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>料理を運んだり、配膳の手伝いをしたり利用者は出来る範囲で手伝いをし、職員と一緒に会話を楽しみながら食事をしている。食べ方の混乱のある方への介助もさりげなく行われている。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>基本的には週4回入浴日を設けているが、希望があれば無理のない範囲で対応している。土曜日は足浴を行い清潔保持に努めている。入浴拒否に対しては無理強いせず上手に声かけして誘導している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の生活の中でそれぞれの得意なことを職員が把握した上でのさり気ない声掛けや誘導が見られ一人ひとりが楽しく過ごせるよう配慮している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所への買い物、リハビリを兼ねた散歩は積極的に行っている。月に一度は体調を考慮しながら全員がマイクロバスで遠出している。又、美容院、買い物など、希望に沿って個々に対応している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	駅近くの交通量の多い場所にホームがあるため、利用者の安全を考慮し、外からは入れるが、中からは出られないように施錠をしている。目立たないように工夫されており、家族も了解されている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て半年に一度防災訓練を行っている。消防署への直通の電話、煙探知機の設置、食料品、水、タオルなど備蓄もある。しかしながら地域との協力体制作りには至っていない。		災害などに際し、地域との連携は重要であり、今まで地域住民に声掛けはしているが、町会等を通じて今後さらに連携強化が求められる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が献立を作成し、バランスの良い食事を提供している。食事量、水分量を毎回記録し、利用者の体調変化に留意している。又、調理の仕方を一人ひとりの嚙下、咀嚼力に合わせて個別に対応している。		



外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
		居心地のよい共用空間づくり			
29	81	共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るく清潔なリビングには畳スペースがあり、横になってくつろぐことができる。季節を感じさせる生活や利用者の手作り作品が飾られ、利用者の心を和ませている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮			
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを持ち込んでもらい、荷物の制限はしていない。それぞれに居心地の良さに配慮して工夫されている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。